

都中道研

第一二八号



副会長 長野 基 (昭島市立福島中学校長)

三年間続くコロナ禍での教育動
が、まだ制限はあるものの少しずつ
本来の姿に戻りつつあります。

本会におきましては、年間計画
に沿って事業を進めて参りました
が、六月の総会・研修会、八月の
第一回部員総会・研修会、一月の
第二回部員総会・研修会はいずれ
もオンラインと会場参集のハイブ
リッド方式によるものでした。二
月七日の多摩市立聖ヶ丘中学校に
おける研究発表大会では、研究授
業で教室に大勢入ることが生徒に
不安を与えるために、オンライン
のみの開催となりました。

当日は本年度の研究テーマ「教
科の特質を生かしつつ、これから
の時代に対応する道德科の指導の
工夫」に迫るため、三名の部員が
ICTを活用した研究授業を行い

ました。ICT活用は生徒の考え
を全体で共有することが容易で、
話し合いが行いやすく、個々の考
えを深めることに有効でした。

本年度のアンケート結果でも、
ICTの活用とともに発問の工
夫、話し合いの工夫は、各学校
が試行錯誤している上位三項目
でした。

また、相互の考えを共有するこ
とで考えを深められるような授業
を展開するので、三分の二の学校
が「質の高い多様な指導方法の工
夫」が課題と感じています。

生徒が道德性を養うために、教
師がより一層道德的価値の理解に
努め、生徒が道德的価値に向き合
い、いかに生きるべきかを主体的
に考え続ける姿勢をもてるよう、
本会では今後もより適切な指導方
法の研究を進めて参ります。皆様
の益々のご支援とご協力をお願い
申し上げます。

令和五年度の活動予定

事務局長 生野 まゆみ

(調布市立第四中学校長)

一 令和五年度活動予定

主な日程は、次の通りです。詳細
については、HPにて、お知らせ
絡いたします。

(一) 総会・研修会

令和五年五月

会場 中野サンプラザ研修室

(二) 第一回部員総会・研修会

令和五年八月

会場 調整中

(三) 第二回部員総会・研修会

令和六年一月

会場 調整中

(四) 第五十三回研究発表大会

令和六年二月中旬

会場 調整中

二 全国大会・関東甲信越大会

日程等は、次の通りです。変更
が生じる可能性もあります。ご了
承ください。

詳細については、HPにてお知
らせいたします。

(一) 第五十七回全日本中学校道
徳教育研究大会北海道函館大会
令和五年十一月一日(水)、
二日(木)

二日(木)

一日目 公開授業／授業研究分科
会／課題別分科会／全国理事会
会場 函館市立亀田中学校

二日目 開会行事／基調提案・指
導講話／閉会行事
会場 函館市民会館

大会主題は、「主体的に学び合う
児童・生徒の育成／well beingの
実現を目指した道德教育の実践
」です。東京都は、「道德科に
おける教材の選択と活用」につい
て提案します。

(二) 第五十二回関東甲信越中学
道德教育研究大会栃木大会
令和五年十月二十七日(金)

大会主題は、「未来を切り拓き、
豊かな心を育む道德教育／語り合
い、高め合いより良い生き方を追
究する生徒の育成」です。

東京都は、「道德科における評
価の工夫」について提案します。

令和四年度 研究部活動報告

研究部長 麻生 隆久

(多摩市立聖ヶ丘中学校長)

昨年度は、コロナ禍において二年ぶりに月一回の研究部会を復活し、対面ができない時もありリモート活用により実施しました。今年度は、多摩市立聖ヶ丘中学校を会場として、当初から対面とリモートによるハイブリット型の研究部会を毎月開催してまいりました。

昨年度の研究の中では、ICT化が進むことによって、「主体的・対話的で深い学び」を実現するためのICTの活用が課題の一つとしてあげられていました。そこで、今後さらにICT化が進み、予測不可能と言われる社会において、「人間としての生き方」を考える道徳科の役割がますます重要になってくることを踏まえ、昨年度の取組の成果と課題を活かした研究を継続することとし、本年度の研究主題も、「教科の特質を生かしつつ、これからの時代に対応する道徳科の指導の工夫」といたしました。また、今新たに求められている「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実をどのように実現していくか、道徳教育を充実させるための校内体制をどう整備していくか」という視点も加えて

本年度の研究に取り組むこととし、今年度も3つの柱を立て、研究活動を進めて参りました。

一つ目の柱は、道徳教育をめぐる今日的な課題に対応した研究を推進し、全日本中学校道徳教育研究大会（以下、全国大会）及び、関東甲信越中学校道徳教育研究大会（以下、関東大会）及び、関東甲信越中学校道徳教育研究大会（以下、関東大会）の発表に向けて、発表者を選定し、それらの内容について討議検討を重ね、より充実したものにしていくこと。

二つ目の柱は、それらの成果を踏まえ、教材研究および指導方法についての研鑽を深め、2月の研究発表会の公開授業で成果を見ていただくこと。

三つ目の柱は、東京都全体の道徳科の取組状況と課題等を整理し、道徳教育の充実を目的としたアンケート調査の実施です。

さらにこれらの成果を研究紀要にまとめ、冊子とHPにて全都に向けてはご紹介することといたしました。

活動の経緯と概要は、以下の「活動報告」とおりです。

一 活動報告

(一) 第一回～第五回（四月～八月）

(会場) 多摩市立聖ヶ丘中学校

①令和四年度の研究部活動方針及び活動計画の確認

②研究主題の決定

③令和四年度全日本中学校道徳教育研究大会（以下、全国大会という）・関東甲信越中学校道徳教育研究大会（以下、関東大会という）の発表者の決定、分科会テーマに沿った発表内容等の検討

④令和四年度第一回部員総会・研修会での全国大会、関東大会のプレ発表内容及びプレゼンテーション（以下、プレゼンという）の検討

⑤各校の取組を基に、今年度の研究テーマや発表内容に関連した道徳科の充実のための意見交換・検討会

(主な内容)

- ・ICTを活用した道徳授業の実践例の紹介やICTを活用した指導方法の工夫や発問例について
- ・ワークシートとタブレットの活用方法の違いや工夫について
- ・ICTを活用した板書の工夫、「多面的多角的で深い学び」に効果的なアプリケーション（以下、アプリという）とその活用法等について
- ・道徳科におけるICT活用のメリットとデメリットについて
- ・道徳科における「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」について
- ・教科化後、四年目を迎えた各校、

各地区の道徳の推進状況について
・道徳教育の推進と推進教師の役割について

・道徳教育推進上の課題と対応策について

・道徳教育推進に関する全都中学校対象アンケートについて
・別業作成の状況とそれに伴う成果と課題について など。

(二) 第一回部員総会・研修会

令和四年八月二十三日

中野サンプラザ

全国大会、関東大会のプレ発表

①全国大会山形大会に向けて

文京区立第九中学校

戸上 理子 主任教諭

②関東大会に向けて

世田谷区立桜丘中学校

大谷 秋音 教諭

③指導講評・講演

実践女子大学

福田 鉄雄 先生

(三) 第六回～第十一回（九月～二月）

会場

多摩市立聖ヶ丘中学校

①令和四年度全日本中学校道徳教育研究大会・関東甲信越中学校道徳教育研究大会の本発表内容と原稿・プレゼンの最終案確認

②令和四年度第五十二回東京都中学校道徳教育研究発表大会（以下、研究大会という）に向けて

の後期の研究活動及び研究の方針の確認

③ 研究方針に基づく研究発表会当日の公開授業者の募集と選定

④ 公開授業内容の検討

⑤ 令和四年度道德教育推進に関わる全都対象調査活動の内容・実施方法・設問等の検討

⑥ アンケート調査の実施と集計

⑦ 研究紀要プロットと分担の確認

⑧ 公開授業対象学年、使用教材、使用資料等の検討と選定

⑨ 公開授業指導案検討

⑩ 研究大会の準備（案内の作成、教材・指導案検討準備、授業ク

ラスの決定、運営役割分担の検討）

⑪ 令和四年度第二回部員総会・研修会での発表者・発表内容の検討

（四）全国大会・関東大会研究発表

① 第五十六回全日本中学校道德教育研究大会山形大会（Web開催）

令和四年十一月十日～三十日
第二分科会 東京都代表発表者
文京区立第九中学校
戸上 理子 主任教諭
テーマ「道德教育を推進する指導体制のあり方」指導力向上を
目指した校内OJT体制の構築」

第三分科会 東京都代表発表者

世田谷区立桜丘中学校

大谷 秋音 教諭

テーマ「考えを可視化する道德科の授業の工夫」ICTを活用した意見の共有による効果について」

（五）第二回部員総会・研修会
令和五年一月二十日

中野サンプラザ

令和四年度東京都道德教育推進委員会委員による実践事例紹介

①「特別の教科 道德」授業力向上セミナー発表内容紹介

・動画資料作成・提供
江東区立深川第三中学校

柿沼 治彦 指導教諭

・説明資料作成・提供
府中市立府中第四中学校

小池 林太郎 主幹教諭

② 指導教諭実践事例紹介

・資料作成・提供及び説明代表者
多摩市立聖ヶ丘中学校

三浦 摩利 指導教諭

③ 指導講評・講演

東京都教職員研修センター教授

森岡 耕平 先生

（六）第五十二回東京都中学校道德教育研究会研究発表大会（オンラインライブ配信形式にて実施）

令和五年二月七日

（会場）多摩市立聖ヶ丘中学校

【公開授業】

一年間の研究活動の成果として、ICTを活用した授業事例として、聖ヶ丘中学校第一学年の生徒を対象に、研究部員による公開授業を行い、ライブ配信を実施。

一年一組

（授業者）八王子市立宮上中学校

海老澤 宏 主幹教諭

（内容項目）C

遵法精神・公德心

（教材）「仏の銀蔵」

（出典）文部科学省

「中学校道德読み物資料集」

一年二組

（授業者）渋谷区立代々木中学校

戸上 琢也 主幹教諭

（内容項目）D

生命の尊さ

（教材）

「いのちを考える」

（出典）教育出版「中学道德1」

一年三組

（授業者）世田谷区立桜丘中学校

大谷 秋音 教諭

（内容項目）B 礼儀

（教材）「Manners make the man」

（出典）東京都道德教育教材集中学校版「こころ見つめ

て」



【研究発表】

（内容及び発表者）

① 会長挨拶

世田谷区立桜丘中学校

加藤 敏久 校長

② 研究部長より

・研究主題・活動概要説明

多摩市立聖ヶ丘中学校

麻生 隆久 校長

③ 本日の公開授業について

授業者より、ねらい・指導の工夫・成果と課題についての説明

④ 全国大会・関東大会報告

⑤ 都内全公立中学校対象道德教育推進に関するアンケート調査報告

昭島市立福島中学校

長野 基 校長

⑥ 指導講評・講演

文部科学省初等中等教育局教育課程科 教科調査官

飯塚 秀彦 先生

令和四年度の活動報告とさせていただきます。なお、全国大会・関東大会の発表内容、指導教諭等の実践報告、指導案、アンケート調査結果、研究のまとめ等は、後

日配布されます研究紀要並びに都中道ホームページをご参照ください。皆様には、この一年間、多大なる御支援と御協力を賜り誠に

ありがとうございました。

令和四年度の後期活動報告

事務局長 生野 まゆみ

(調布市立第四中学校長)

一 全国大会・関東甲信越大会

(二) 第五十一回関東甲信越中学校道德教育研究大会群馬大会が、

「自己」の生き方を考え、他者と共によりよく生きようとする生徒を育む道德教育の創出」を大会主題として、紙面で開催されました。

東京都は、「ICTを活用した道德教育」について、大谷秋音研究部員(世田谷区立桜丘中学校教諭)が提案をしました。

(二) 第五十六回全国日本中学校道德教育研究大会山形大会が、「いのちを輝かせよりよい生き方を拓く道德教育」確かな教材研究に根ざし他者と響き合い自己を見つめる道德科の授業づくり」を大会主題として、令和四年十一月十日(木)から三十日(水)にWEB開催されました。

東京都は、「道德教育を推進する指導体制のあり方」について、戸上理子研究員(文京区立第九中学校主任教諭)が提案をしました。助言者は、本会の、加藤敏久会長(世田谷区立桜丘中学校長)が務めさせていただきました。

二 第二回部員総会・研修会
令和五年一月二十日(金)に、中

野サンプラザ研修室にて、第二回部員総会・研修会が行われました。

(一) 部員総会

各部より、進捗状況と、部員への周知事項の報告がありました。

(二) 研修会

三浦 摩利 指導教諭(多摩市立聖ヶ丘中学校)が自身の実践報告と、小池 林太郎 主幹教諭(府中市立府中第四中学校)、柿沼 治彦 指導教諭(江東区立深川第三中学校)の実践について発表しました。

(三) 講演

東京都教職員研修センター研修部 授業力向上課 教授 森岡耕平 先生に「今、授業はどうなっている?」を演題に、ご講演いただきました。

三 第五十二回東京都中学校道德教育研究会研究発表大会

令和五年二月七日(火)に多摩市立聖ヶ丘中学校を会場とし、オンラインで公開授業(ライブ)と、研究発表会、指導講話が行われました。

(二) 公開授業

東京都中学校道德教育研究会研究部員によるICTを活用した授業を、一学年三年級、で実施し公開しました。

(二) 研究発表
麻生 隆久 研究部長から、大

会主題の「教科の特性を生かしつつ、これからの時代に対応する道德科の指導の工夫」について、発表がありました。

(三) 指導講話

国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 飯塚秀彦先生より「道德科の指導を充実させるための諸計画の作成」を演題に指導講話をいただきました。(講話の一部を紹介します)

年間指導計画を立てる際、重点とする内容項目を年間指導計画の中で扱うということではなく、関連しているかが大切です。そして、別業、まずはシンプルにして注力をする部分をはっきりさせるとよいです。

重点とする内容項目については先生方同士で、自分事として考え、生徒とともに考えたい、わが校の重点とする内容項目といった意識が重要です。

各教科等、体験活動等との関連指導の工夫について。生徒が日常生活の中で感じている事柄を道德科の中で生かしていくことが大切です。

複数時間の指導の導入、今後、年間指導計画を考える際に、ぜひ行っていたきたいです。

計画の弾力的な取り扱いへの配慮は、より効果が得られる場合は修正もあります。但し、学年などによる検討を経て、学年または学校で検討する必要があります。

教科書に沿って進める指導が定着してきたことが感じられる一方で、色々な教材を活用していくということも大切だと思います。

最後に、一年を振り返って、先生が指導して感じられたことを入力、記入できるものを用意しておくことは、評価と改善を行うためには非常に重要なことです。

編集後記

日頃より、都中道研の活動にご理解、ご協力いただき、ありがとうございます。

この度、広報第一二八号をお届けいたします。今後も、ご協力の程、よろしく願っています。

東京都中学校道德教育研究会広報部
部長 佐藤 正敏(足立区立第十四中学校副校長)
副部長 戸上 琢也

(渋谷区立代々木中学校主幹教諭)

都中道研のホームページ

<http://www3.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=1350004>